平成 30 年度　松之山商工会経営発達支援事業評価票

A	目標を達成することができた（１００％以上）
B	目標を概ね達成することができた（８０％～９９％）
C	目標を半分程度しか達成することができなかった（３０％～７９％）
D	目標をほとんど達成することができなかった（３０％未満）

Ⅰ．経営発達支援事業の内容

１．地域の経済動向調査に関すること【指針③】

（１）地域内事業者を対象に景況調査兼実態調査の実施

事業内容	評価内容	事務局評価	評価委員会評価
景況調査及び実態調査回数	平成 28 年度より調査を開始し、継続できているが、回答率が減少傾向にある。今後の回答率を上げることを考えながら継続したい。	B	B
景況調査公開回数	当会ホームページにて情報公開したほか、調査対象会員及び行政に情報提供できた。今後も継続して情報提供したい。	B	B
行政との懇談会	回数は目標達成となっているので概ね達成できている。しかし、昨年度も課題として挙げたが、懇談内容をもう少し事業に合せたものにしたい。	C	B

２．経営状況の分析に関すること【指針①】

（１）経年経営分析の実施

（２）簡易財務分析の実施

事業内容	評価内容	事務局評価	評価委員会評価
分析のための巡回訪問件数	回数だけだと目標達成できているように捉えられるが、目的内容が事業あっていると言えない。今後は事業内容に合せた巡回指導になるよう考えたい。	C	C
経年経営分析件数	分析の件数は何とか目標は達成できているが、本来の事業目的は「分析結果を基に事業者自ら計画立案する」こととなっている。今年度の実績は、融資等のための分析であり、評価は低い。	C	C
簡易財務分析件数	確定申告時での 3 期比較分析は目標件数をクリアできているが、事業計画では「月次処理毎に 3 期比較試算表分析を提供する」ものとなっているため、評価は低い。	C	C

３．事業計画策定支援に関すること【指針②】

（１）支援対象事業者の掘り起こし

（２）事業計画策定支援

事業内容	評価内容	事務局評価	評価委員会評価
事業計画策定支援数	計画策定件数は目標達成できているが、事務局での作成支援のため本来の目的に達していない。各種セミナー等を重ね、事業者自ら計画策定するよう考えて行きたい。	C	B
持続化補助金申請数	今年度は申請申込が無かった。	D	D

４．事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】

（１）伴走型のフォローアップの実施

事業内容	評価内容	事務局評価	評価委員会評価
広報等による周知	広報による情報発信は十分できたと思うが、実際に活用した事業所は少なかった。	C	B
フォローアップ実施事業者数	フォローアップの件数だけで見ると目標は達成できているが、今年度も融資実行後の返済状況や助言といったきめ細やかな支援ができたとは言い難い。また、専門家派遣ももう少し活用したかった。	C	B
フォローアップに係る巡回件数	巡回回数だけでみると目標数をクリアできているが、分析での巡回と同様全てがフォローアップであったとは言えない。今年度は職員の退職による職員数減の期間もあり、巡回数を伸ばせなかったことも要因の一つとしてあげられる。	C	B

５．需要動向調査に関すること【指針③】

（１）地域外消費者向け需要動向調査の実施

事業内容	評価内容	事務局評価	評価委員会評価
情報提供事業者数	１社への個別支援はできたが、当初計画の調査事業は今年度も、情報提供できるほどでなかった。今後、多くの調査票回収ができるよう回収方法を考えたい。	D	D
情報提供回　　数	１社への提供回数１回にとどまっているため最低評価とした。	D	D

（２）住民向け需要動向調査の実施

事業内容	評価内容	事務局評価	評価委員会評価
情報提供事業者数	今年度は 2 種類の調査報告書を全会員に提供できた。ただし、提供した資料を活用した事業者があったかの検証はできていない。今後は、巡回等で活用方法を周知したい	C	B
情報提供回数	2 回（2 種類）の情報提供ができた。	B	B

（３）外部統計資料からの情報入手

事業内容	評価内容	事務局評価	評価委員会評価
情報提供事業者数	会報での日本政策金融公庫の金利情報等、金融情報を提供する程度であった。 今後は事業計画を作成する事業者を選定し、具体的な情報提供するようにしたい。	C	C

６．新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】

事業内容	評価内容	事務局評価	評価委員会評価
SHIFT 登録数	目標では年間 3 件ずつ増やすこととなっているが、廃業等の理由にて実質減少となっている。目標達成に向け努めたい。	D	B
ミラサポ登録数	今年度のミラサポ登録件数は 0 件だったため最低評価とした。次年度は登録数を増やせるよう努めたい。	D	D
展示会出展者数	地元のイベントへの出展が 2 社にとどまっている。大泉町のイベントにて地域産品の PR ができたが、商談成立までに至っていない。	C	B

Ⅱ．地域経済の活性化に資する取組

事業内容	評価内容	事務局評価	評価委員会評価
観光情報 HP 更新回数	四季毎の更新ができたとは言えず、評価は低い。今後は、職員が変わったことから、職員全体で取り組めるよう方法を考えたい。	D	D
イベント情報 HP 更新	地域内情報の発信はできたが、地域外のイベントは十日町市観光協会のホームページにリンクにとどまっている。	C	C
行政担当課との会議	回数での目標は達成した。内容及び回数増を図れるよう努めたい。	B	B

Ⅲ．経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

１．他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

事業内容	評価内容	事務局評価	評価委員会評価
近隣商工会との情報交換	回数での目標は達成できた。今後は、情報交換内容を精査しながら開催したい。	B	B
県連主催の研修会参加	回数での目標達成はできた。今後も研修内容を確認しながら、積極的な参加に心掛けたい。	B	B
マル経協議会への参加	今年度は職員体制の都合もあり 1 回の参加しかできなかった。目標を達成できるよう心掛けたい。	C	C

２．経営指導員等の資質向上等に関すること

事業内容	評価内容	事務局評価	評価委員会評価
資質向上のための取組	中魚沼郡市商工業振興協議会での勉強会ができたことは評価できる。職員の変更があったことから積極的に研修会に参加することと、職場内での OJT を強化しながら事業に取組みたいと思う。	B	B